平成 24 年9月 28 日

各　　位

会 社 名　ファーマライズホールディングス株式会社
代表者名　代表取締役社長　　大野　利美知
（JASDAQ・コード番号 2796）
問合せ先　常務取締役執行役員　小高　芳夫
（TEL. 03－3362－7130）

# 株式会社寿製作所の株式取得（完全子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成 24 年9月 28 日開催の取締役会において、株式会社寿製作所（本社　栃木県足利市、代表取締役　藤岡雅彦　以下、「寿製作所」という）の全株式を取得し、完全子会社化することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1．株式の取得の理由

当社グループは、北海道から近畿地区まで幅広い地域に店舗展開（本日現在 179 店）し、各地に効率的なドミナント圏を形成していることを裏付けに、新たな成長ステージに向けたソフト（高付加価値）戦略とハード（地域密着）戦略を並行して推進しております。

この度、新たな事業戦略として寿製作所の株式を取得し完全子会社化することで、紙カルテやレントゲンフィルム等の診療録を中心とした医学資料の保管・管理業務に進出いたします。これは当社グループが医療関連データに対する取組みを強化していく上での一環です。寿製作所の事業内容は主として大規模の医療機関を対象に、栃木、群馬県内 4 箇所の管理センターを拠点として医学資料の保管・管理や電子化（スキャニング）等のサービスを提供する、というものであります。同社は、既に全国約 160 の医療機関との取引を確保しており、安定した事業基盤を有しております。また多数の医療機関と長期の取引を継続しており、同社サービスに対して高い信認を得るに至っております。

事業環境について、電子カルテの普及が予想されますが、多くの医療機関において医学資料の長期保有化の傾向が見られることから、当社では、電子カルテの普及がむしろ過去の紙カルテの保管やスキャニングの受注を促進する可能性が高いと考えております。

当該事業領域は、ニッチな市場ではありますが当社グループが参入することで大きなシナジー効果を見込むことができると当社では考えております。具体的には、当社グループが主業務としている調剤薬局で培った医療機関や医薬品卸業との良好な関係性を活用することや、グループ薬局の処方箋や薬歴簿等の保管を通して事業規模の拡大やグループ運営の効率化が見込まれます。また、寿製作所の事業展開と当社グループのデータ関連事業を有機的に運用することにより、新たなシナジー効果生成の可能性があると判断しております。

これらを踏まえて、当社グループは当該事業領域において新たな付加価値を示すことで売上高・利益の拡大を図り、当社グループの企業価値向上に反映させてまいりたいと考えております。

2．異動の方法

当社は、寿製作所の発行済株式の 100％を取得いたします。これにより、寿製作所は当社の連結子会社（完全子会社）になります。

なお、当社は現段階において寿製作所の株式を保有しておりません。また、株式取得資金につきましては、保有現預金を予定しております。

3. 異動する子会社(株式会社寿製作所)の概要(平成 24 年 6 月 30 日現在)　　(単位:百万円)

| | | |
|---|---|---|
| (1) | 商号 | 株式会社寿製作所 |
| (2) | 本店所在地 | 栃木県足利市羽刈町 576 番3 |
| (3) | 代表者の役職・氏名 | 代表取締役　藤岡雅彦 |
| (4) | 事業内容 | 医学資料の保管管理業務 |
| (5) | 資本金の額 | 320,000,001 円 |
| (6) | 設立年月日 | 平成 20 年 11 月 11 日(平成 22 年 9 月 1 日に旧寿製作所と合併、旧寿製作所の創業:昭和 41 年 11 月)[注1] |
| (7) | 従業員数 | 41 名 |
| (8) | 事業年度末日 | 6 月 30 日 |
| (9) | 主な事業所 | 本社(栃木県足利市)、他管理センター3 ヶ所(群馬県内) |
| (10) | URL | http://www.kotobank.co.jp/index.html |
| (11) | 大株主及び持株比率 | アイ・シグマ事業支援ファンド1号投資事業有限責任組合　6,389 株(99.8%)<br>アイ・シグマ BAF 役職員ファンド 2 号組合　12 株(0.2%) |
| (12) | 上場会社と当該会社との関係等 | 資本関係：該当事項はございません。 |
| | | 人的関係：該当事項はございません。 |
| | | 取引関係：該当事項はございません。 |
| | | 関連当事者への該当状況：該当事項はございません。 |

(13)　当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態[注2、注3]

| | 平成 22 年 6 月期 | 平成 23 年 6 月期 | 平成 24 年 6 月期 |
|---|---|---|---|
| 総資産 | 1,420 | 1,908 | 1,870 |
| 純資産 | 1,201 | 604 | 673 |
| 1 株当たり純資産(円) | 7,211 円 39 銭 | 94,465 円 52 銭 | 105,160 円 88 銭 |
| 売上高 | 823 | 688 | 815 |
| 1 株当たり配当金(円) | － | － | － |

注1 株式会社 BAF1 を存続会社、旧株式会社寿製作所を消滅会社とする吸収合併を実施し、商号を株式会社寿製作所に変更しています。

注2 平成 22 年 9 月 1 日に注 1 記載の組織再編及び商号変更を行ったため、平成 22 年 6 月期は旧寿製作所の数値、平成 23 年 6 月期の経営成績は平成 22 年 9 月乃至平成 23 年 6 月の 10 ヶ月分の数値となっています。また1株当たり純資産について、平成 22 年 6 月期は発行済株式総数を 166,600 株とし、平成 23 年 6 月期と平成 24 年 6 月期は発行済株式総数を 6,401 株として算出しています。

注3 寿製作所及びその関係者との協議により、営業利益等の公表については差し控えさせて頂きます。

4. 株式取得の相手先の概要

| | | | |
|---|---|---|---|
| (1) | 氏名 | アイ・シグマ事業支援ファンド1号投資事業有限責任組合 | |
| (2) | 所在地 | 東京都千代田区神田錦町3丁目 23 番地　西本興産錦町ビル 7 階 | |
| (3) | 設立根拠等 | 投資事業有限責任組合 | |
| (4) | 組成目的 | 投資収益を得ること | |
| (5) | 組成日 | 2008 年 3 月 11 日 | |
| (6) | 出資者・出資比率・出資比率の概要 | 機関投資家 | |
| (7) | 無限責任組合員の概要 | 名称 | アイ・シグマ・キャピタル株式会社 |
| | | 所在地 | 東京都千代田区神田錦町 3 丁目 23 番地<br>西本興産錦町ビル 7 階 |
| | | 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長　加納　道章 |
| | | 事業内容 | プライベートエクイティ投資等及びその関連業務全般 |
| | | 資本金 | 3 億円 |
| (8) | 上場会社と当該ファンドとの間の関係 | 上場会社と当該ファンドとの間の関係 | 当社並びに当社の関係者及び関係会社から当該ファンドへは直接・間接問わず出資はありません。また、当社並びに当社の関係者及び関係会社と当該ファンドの出資者(現出資者を含む。)との間に特筆すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。 |
| | | 上場会社と無限責任組合員との関係 | 当社と当該ファンドの無限責任組合員との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。また、当社並びに当社の関係者及び関係会社と当該ファンドの無限責任組合員並びに当該ファンドの無限責任組合員の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。 |
| | | 上場会社と国内代理人との間の関係 | 当社と当該国内代理人との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。また、当社並びに当社の関係者及び関係会社と当該国内代理人並びに当該国内代理人の関係者及び関係会社との間には、特筆すべき資本関係・人的関係・取引関係はありません。 |

注　アイ・シグマ BAF 役職員ファンド 2 号組合は、その持分をクロージング日の前日以前に上記相手先に譲渡する予定です。

5. 取得株式数、取得価額および取得前後の所有株式の状況

| | |
|---|---|
| (1)異動前の所有株式数 | 0 株<br>(議決権の数:0 個)<br>(所 有 割 合:0%) |
| (2)取 得 株 式 数 | 6,401 株<br>(議決権の数:6,401 個)<br>(取 得 価 額:1,620 百万円) |
| (3)異動後の所有株式数 | 6,401 株<br>(議決権の数:6,401 個)<br>(所 有 割 合:100%) |
| (4)取得価額の算定根拠<br>現状の収益力と販売力に、当社の完全子会社になることで実現が見込まれるシナジー効果を加味したキャッシュフロー創出能力に基づくディスカウントキャッシュフロー(DCF)法により算定しております。 | |

6. 日程

取 締 役 会 決 議　　平成 24 年9月 28 日
クロージング日(引渡期日)　平成 24 年 10 月 31 日

7. 今後の見通し

寿製作所の完全子会社化後の今期連結業績予想への影響は、現在精査中であります。確定次第お知らせいたします。

以　上